

介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

令和6年6月の介護報酬改定において、介護職員等処遇改善加算が改定され、当法人においても算定を行っております。

介護職員等処遇改善加算の賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を下記のとおり公表いたします。

入職促進に向けた取組	<p><b>【他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築】</b></p> <p>短時間勤務の職員や日勤専従の職員、高年齢者なども積極的に採用し、子育て中の主婦層や高年齢者の採用を行っている。</p> <p><b>【職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施】</b></p> <p>介護に興味がある方の職業体験の受入れや地域の行事へ参加を行っている。</p>
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<p><b>【働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等】</b></p> <p>介護福祉士実務者研修を受講する職員について、勤務調整を行い受講しやすい環境の整備を行っている。</p> <p><b>【エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入】</b></p> <p>エルダー・メンター制度等導入し、新職員など相談・フォローする体制の整備を行っている。</p> <p><b>【上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保】</b></p> <p>定期的に統括施設長との面談を行い、職員のキャリアアップについて面談を行っている。</p>
両立支援・多様な働き方の推進	<p><b>【子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備】</b></p> <p>育児・介護休業やフレックスタイム制を導入し、柔軟に働ける環境づくりを行っている。</p> <p><b>【職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備】</b></p> <p>子育て中の職員に対して、短時間勤務や日勤専従の勤務を行い柔軟に対応を行っている。また、パート就業規則において、無期労働契約への転換についても明記している。</p> <p><b>【業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実】</b></p>

	<p>年に数回、職員及び入居者家族は、公認心理士と面談を行える体制を整備している。</p>
腰痛を含む心身の健康管理	<p><b>【介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施】</b></p> <p>身体の負担軽減のために、スライディングシートを活用した介護技術を行っている。</p> <p><b>【短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施】</b></p> <p>公認心理士がストレスチェックシートを基に面談を行っている。</p> <p><b>【事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備】</b></p> <p>事故・苦情処理に関するマニュアルの整備を行っている。</p>
生産性向上のための業務改善の取組	<p><b>【タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減】</b></p> <p>眠りスキャンや見守りカメラを設置している。また、介護ソフトを導入し、タブレットから入力することで、業務量の縮減となる取り組みを行っている</p> <p><b>【高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化】</b></p> <p>高年齢者の職員に対しては、フロアや居室の掃除、シーツ交換などの業務を行ってもらい、役割分担を行っている。</p> <p><b>【業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減】</b></p> <p>介護ソフトの活用やタブレットのメモ機能を活かした情報共有を行い業務量の軽減に取り込んでいる。</p>
やりがい・働きがいの醸成	<p><b>【ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善】</b></p> <p>月に1回、フロアリーダー会議、フロアサブリーダー会議、ユニット会議を行い、コミュニケーションを取っている。その会議において、介護職員の気づき・課題について協議を行っている。</p> <p><b>【地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施】</b></p> <p>地域の公民館で、介護講座や新年の挨拶行事に参加している。</p>

**【利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供】**

月に1回、フロアリーダー会議、フロアサブリーダー会議、ユニット会議を行っている。その会議において、ケアの方針や法人の理念について確認を行っている。

**【ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供】**

利用者やその家族からの謝意に対しては、介護ソフト等を活用し全職員に共有している。またケアの好事例については、利用者・家族の了解のもと全国大会での発表を目指した取り組みを行っている。